

波佐見町地域公共交通利便増進実施計画 (案)

令和8年7月時点

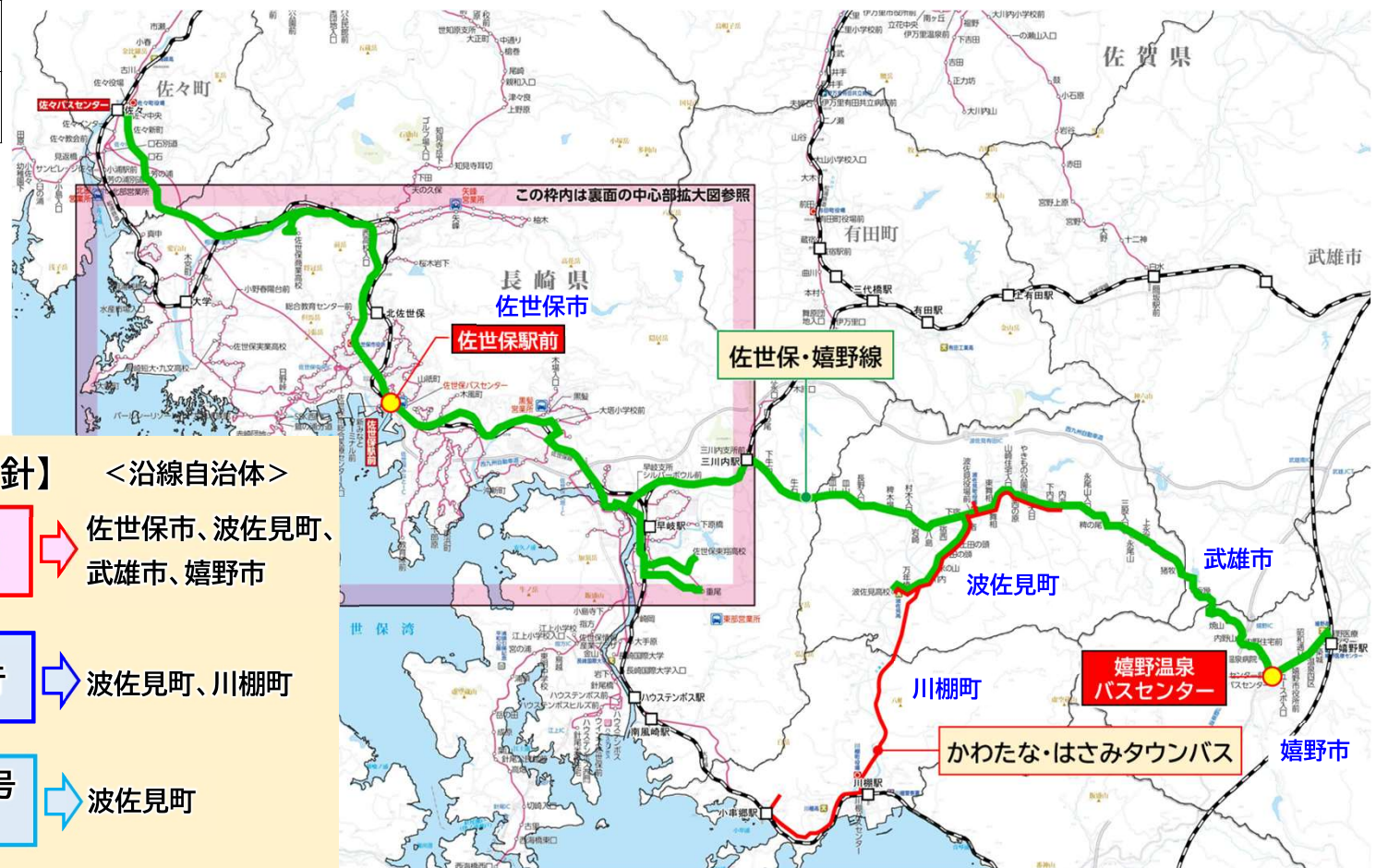
波佐見町、佐世保市、武雄市、嬉野市、川棚町

<計画の趣旨>

- ◆佐世保・嬉野線及びかわたな・はさみタウンバス(実証運行中)の沿線自治体計画を踏まえ、地域間幹線である「佐世保－嬉野線」の将来にわたる利便増進、実証運行中の廃止代替路線「かわたな・はさみタウンバス」の本格運行への移行、同じく実証運行中の予約制乗合交通「チョイソコのんなっせ号」の本格運行への移行を行うため、「波佐見町地域公共交通利便増進実施計画(連名:佐世保市、武雄市、嬉野市、川棚町)」を策定し、利便増進事業としてR8.10月からの再編を行うものです。

▼本計画の実施区域

計画区域	波佐見町、佐世保市、嬉野市、武雄市、川棚町
計画期間	令和8年度～令和12年度



【計画に位置付ける3つの再編方針】

<沿線自治体>

再編方針1. 佐世保・嬉野線の再編

⇒ 佐世保市、波佐見町、
武雄市、嬉野市

再編方針2. タウンバスの本格運行

⇒ 波佐見町、川棚町

再編方針3. チョイソコのんなっせ号
の本格運行

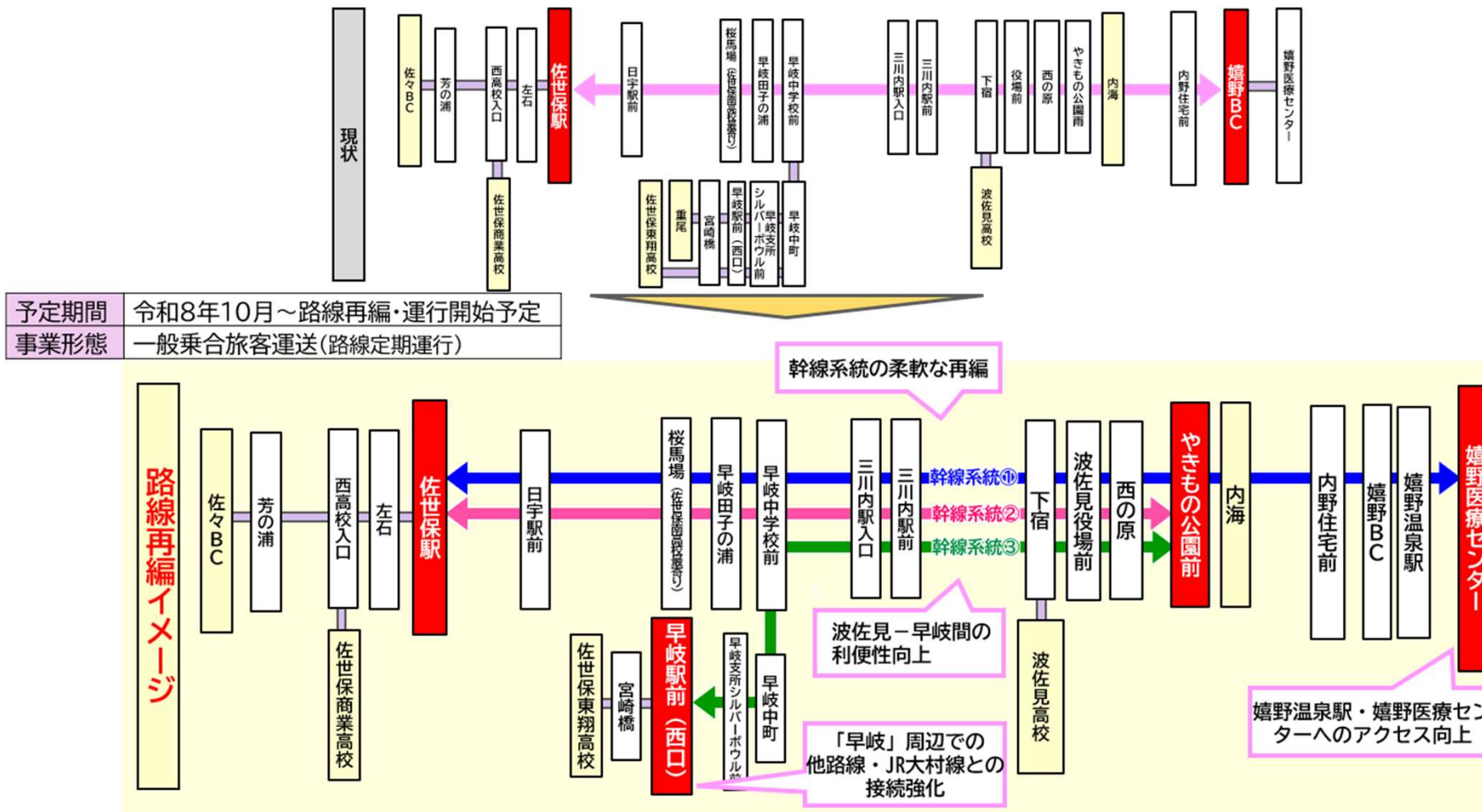
⇒ 波佐見町

①再編の方針・狙い

◆これまで「嬉野温泉バスセンター」及び「佐世保駅」を幹線系統とした運行から、「嬉野医療センター」、「やきもの公園前」、「早岐駅前」、「佐世保駅前」を起終点とした3つの幹線系統への再編を行います。

【再編の狙い】

- 「やきもの公園前(波佐見町)」-「早岐(佐世保市)」区間を新たな幹線区間とした**運行水準・利便性向上**
- 「嬉野医療センター」を主要結節点とし、「嬉野温泉駅」を経由することによる嬉野・波佐見の観光連携促進や**アクセス向上**等
- 「早岐駅前」等における佐世保市内の他路線やJR大村線早岐駅との**乗継強化・利便性向上**



②再編内容

- ◆現在運行している佐世保・嬉野線の地域間幹線補助対象系統「佐世保駅」－「嬉野バスセンター(嬉野BC)」間を主な対象として系統の分割・統合・組み込みを行います。

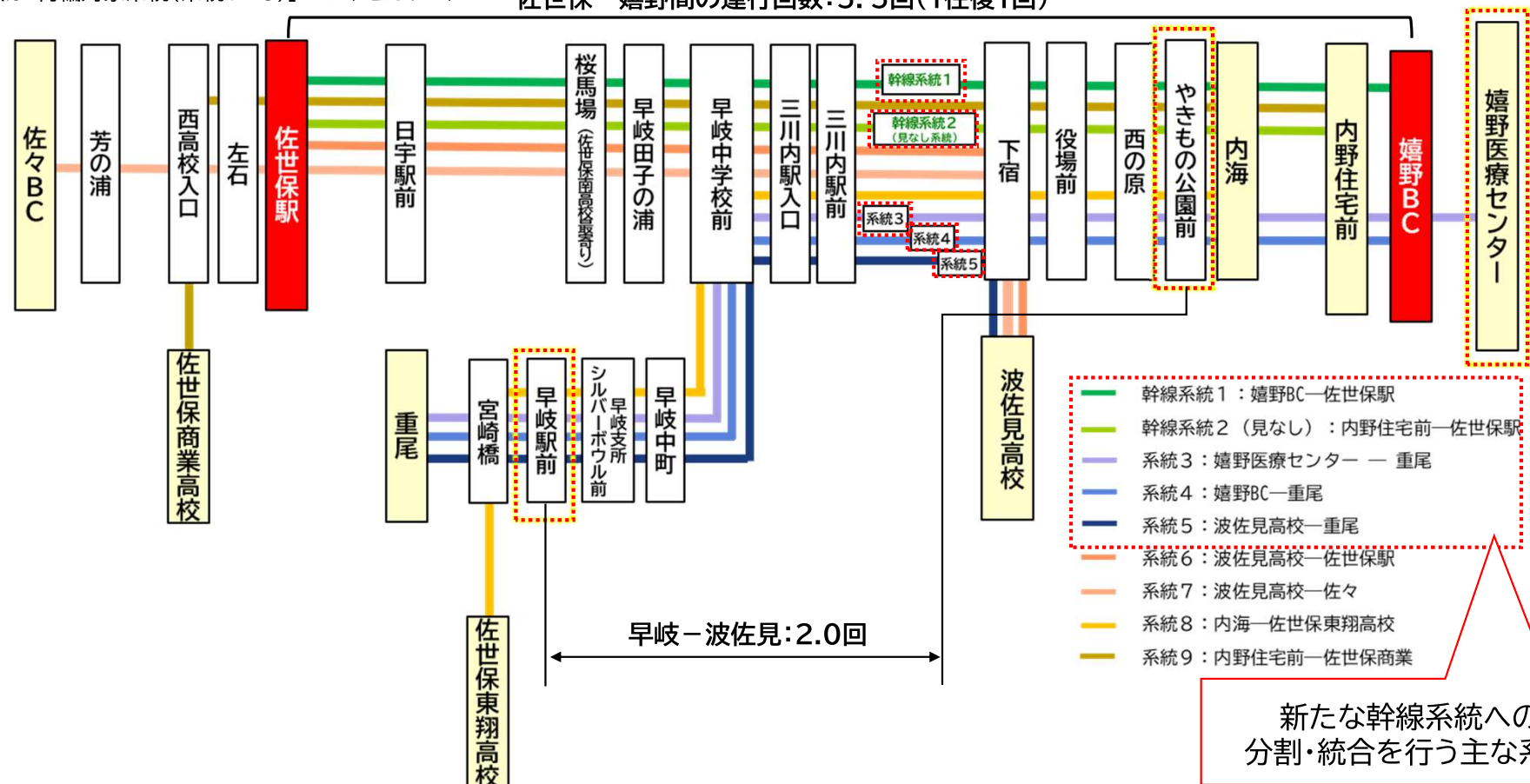
【再編内容】

- 現在の幹線系統1及び幹線系統2(見なし系統)を需要に応じて**3つの幹線系統に再整理**
- 系統3・4・5(重尾 起終点)を**幹線系統へ組み込み・統合**
- ⇒公共交通利用者のニーズに合った**柔軟な再編、幹線区間の強化**を図る。

▼【再編前】現在の佐世保・嬉野線の系統図

※運行回数は「再編対象系統(系統1～5)」のみをカウント

佐世保－嬉野間の運行回数:5.5回(1往復1回)



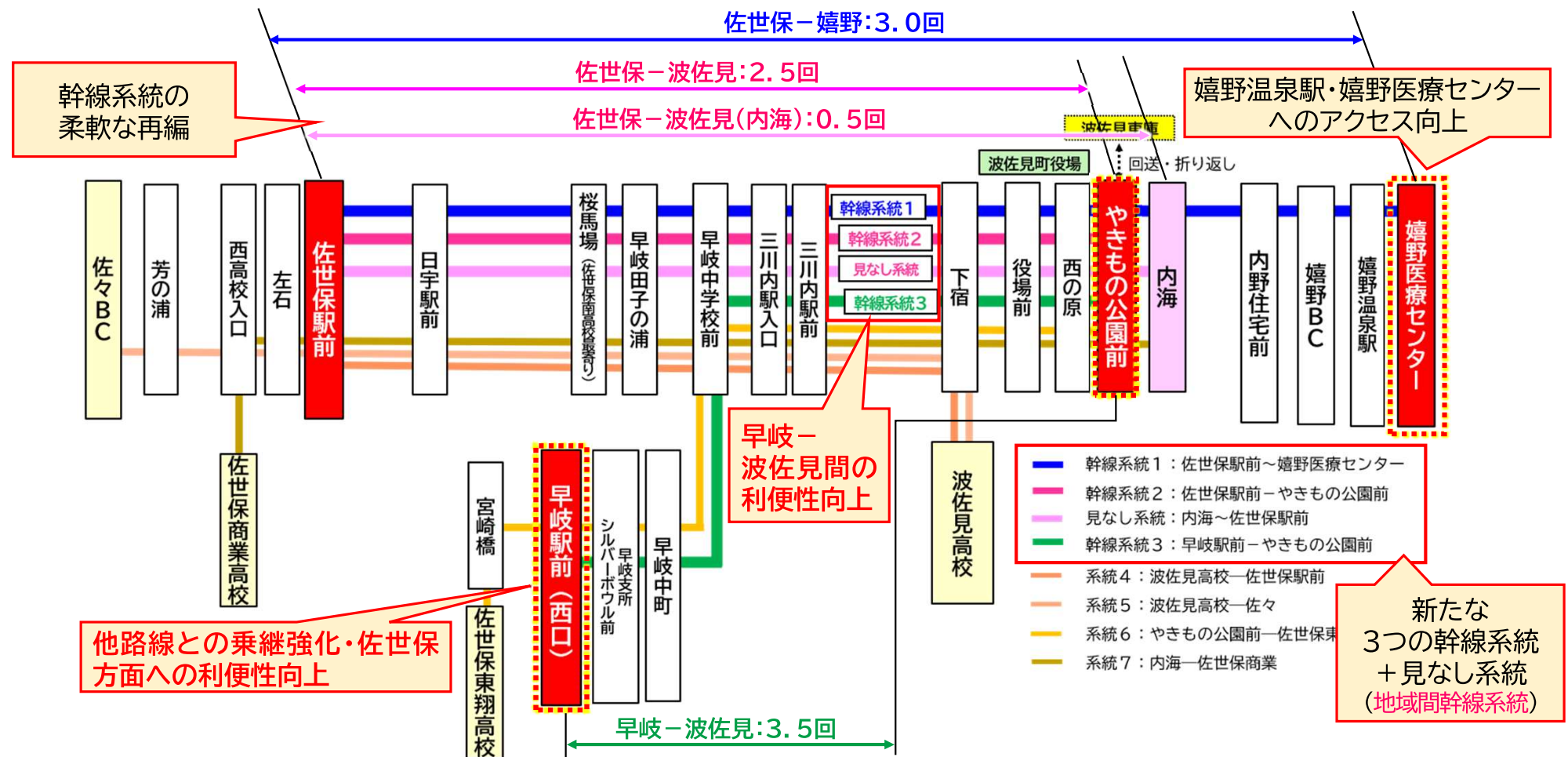
③再編による主な効果

【主な効果】

- 「佐世保・早岐」－「波佐見(やきもの公園前)」区間の強化(運行回数※7.5回⇒9.5回)による通学・通院・買い物等の利便性向上
- 「嬉野温泉駅・嬉野医療センター」や「早岐支所シルバーボウル前」といった主要目的施設へのアクセス向上による沿線自治体の公共交通利便性の向上
- 佐世保市内の他路線や鉄道駅との「早岐駅前(西口)」での乗継強化による、佐世保方面への利便性向上
- 上記の利便増進を図りつつ、町内への車庫機能の確保により回送距離削減・運行効率化を同時に図っていきます。

※各区間の運行回数は「幹線系統・見なし系統」のみをカウント

▼【再編後】佐世保・嬉野線の系統図

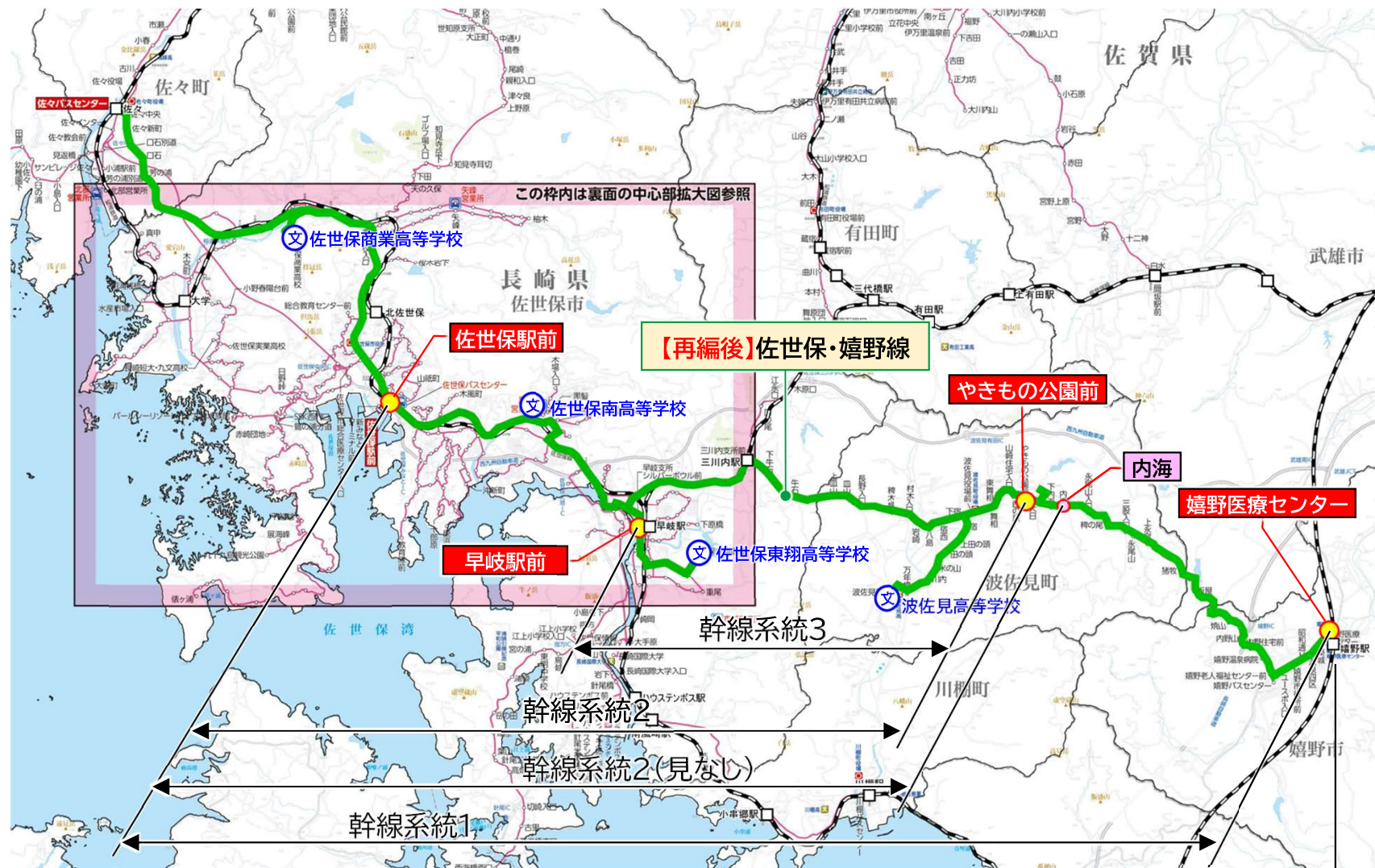


④再編後の佐世保・嬉野線(路線図)

【幹線以外の系統について】

- 現状、町内外の高等学校(波佐見高校、佐世保南高校、佐世保商業高校、佐世保東翔高校 等)の**通学・帰宅便**として運行している便(町内外の高等学校を起終点とした便)は、**現状の運行時刻・運行水準を維持**し、これまでの通学利便性を維持・確保します。

▼【再編後】佐世保・嬉野線の路線図



⑤事業の目標

【利便増進事業の目標設定】

- 沿線自治体の地域公共交通計画を踏まえつつ、4市町を跨ぐ地域間幹線系統としての持続的な運行を目指し、佐世保・嬉野線の「年間輸送人員」を(R6実績)以上の確保を目指します。

▼再編方針1. に基づく利便増進事業による数値目標

目標指標	現況		目標(R12)
佐世保・嬉野線の年間輸送人員	184,928人(R6実績)※		184,928人以上

⑥事業の効果

【再編方針1. に基づく利便増進事業によって見込まれる効果】

- 本事業は、沿線自治体の地域公共交通計画に位置付けられた施策を実現するための事業として、下記の事業効果を見込みます。

▼再編方針1. に基づく利便増進事業によって見込まれる主な効果

事業の効果	再編前	再編後
3つの幹線系統へ再編し、佐世保・早岐－波佐見間の運行水準・利便性を向上(運行回数の変化)	7.5回※1 (R8.4時点)	9.5回※2 (幹線系統1～3)
嬉野温泉駅・嬉野医療センターへのアクセス向上、嬉野・波佐見間の観光連携促進(嬉野温泉駅・嬉野医療センターへの運行回数)	0.5回 (R8.4時点)	3.0回 (幹線系統1)
「やきもの公園前」を起終点とする幹線系統2、3を設けることで波佐見行き(波佐見行き)系統数の変化)	0系統	2系統 (幹線系統2、3)
需要に応じた幹線区間の運行水準の適正化及び町内への車庫・折り返し場所の確保による運行効率化(運行経費の削減)	91,502千円※3 (R6全系統実績)	82,685千円※4 (再編後全系統)

※1:再編対象系統(系統1～5)のみの運行回数

※2:再編後の幹線系統1～3(見なし系統含む)のみの運行回数

※3:令和6年度実績に基づく実車総走行キロ×距離単価約400円/kmより算定

※4:再編後の往復系統キロ×運行回数×計画運行日数×キロ単価約400円/kmより試算

⑦地方公共団体による支援の内容

【利便増進事業の実施における地方公共団体の支援内容】

- 佐世保・嬉野線の利便増進事業の実施にあたり、主に下記点について支援を行うとともに、沿線自治体の地域公共交通の持続的な運行に向けて交通事業者と連携して事業を進めていきます。

▼利便増進事業の実施における地方公共団体の支援内容

区分		支援内容
沿線自治体 共通	地域内フィーダー路線の接続調整等	➤ 佐世保・嬉野線と現在接続する沿線自治体の地域内フィーダー路線の確保維持や接続強化に努め、幹線・フィーダー相互の利便性向上を図る。
	その他	➤ 路線図・時刻表、その他運行情報・サービス情報に関わる情報発信・周知に関わる取組を支援する。
波佐見町	町内への車庫機能等の確保	➤ 佐世保・嬉野線の再編に必要な波佐見町内への車庫機能を確保するため、新たに主要結節点とする「やきもの公園前」バス停の近辺へ当該路線の再編・運行にあたる車庫・折り返し場所・休憩所・運転士駐車場機能として確保し、効率的な運行に向けた支援を行う。

①再編の方針・狙い

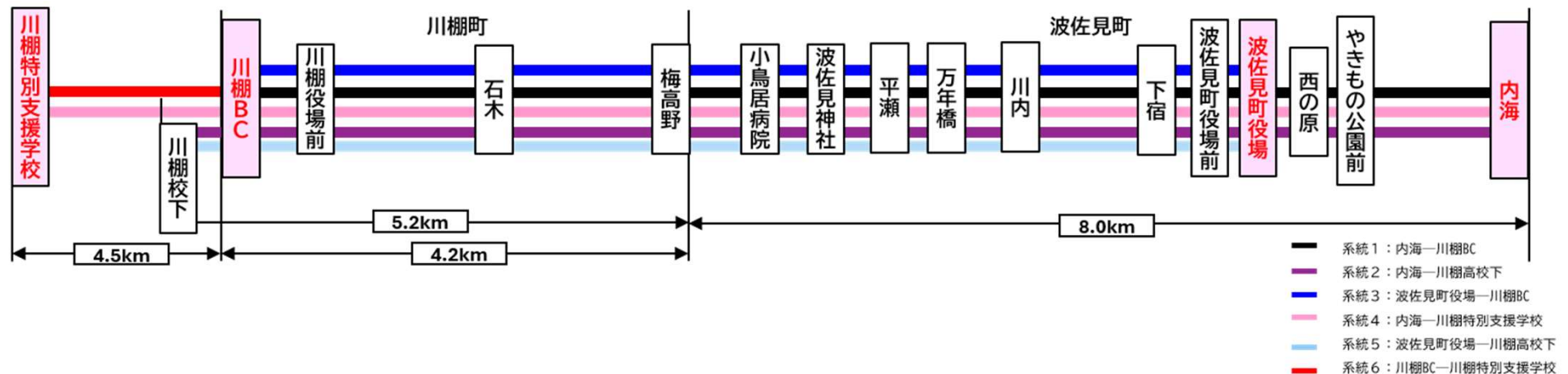
◆令和7年4月1日より、旧川棚・内海線の廃止代替路線として実証運行を開始している「かわたな・はさみタウンバス」について、本格運行への移行を行います。

【再編の狙い】

- 実証運行中の現在の運行サービスを基本として本格運行へ移行
- 波佐見町及び川棚町に立地する高等学校・特別支援学校の通学手段としての維持・確保
- 「波佐見町役場」への乗り入れを行い、町役場へのラストワンマイル輸送の確保



▼かわたな・はさみタウンバスの系統図(現在の運行系統を引き継ぐ)



予定期間	令和8年10月～本格運行開始予定
事業形態	自家用有償旅客運送(路線定期運行)

②再編内容

- ◆本格運行に移行にあたり、地域間幹線系統である「佐世保・嬉野線」と接続する地域内フィーダー系統路線として運行を行います。

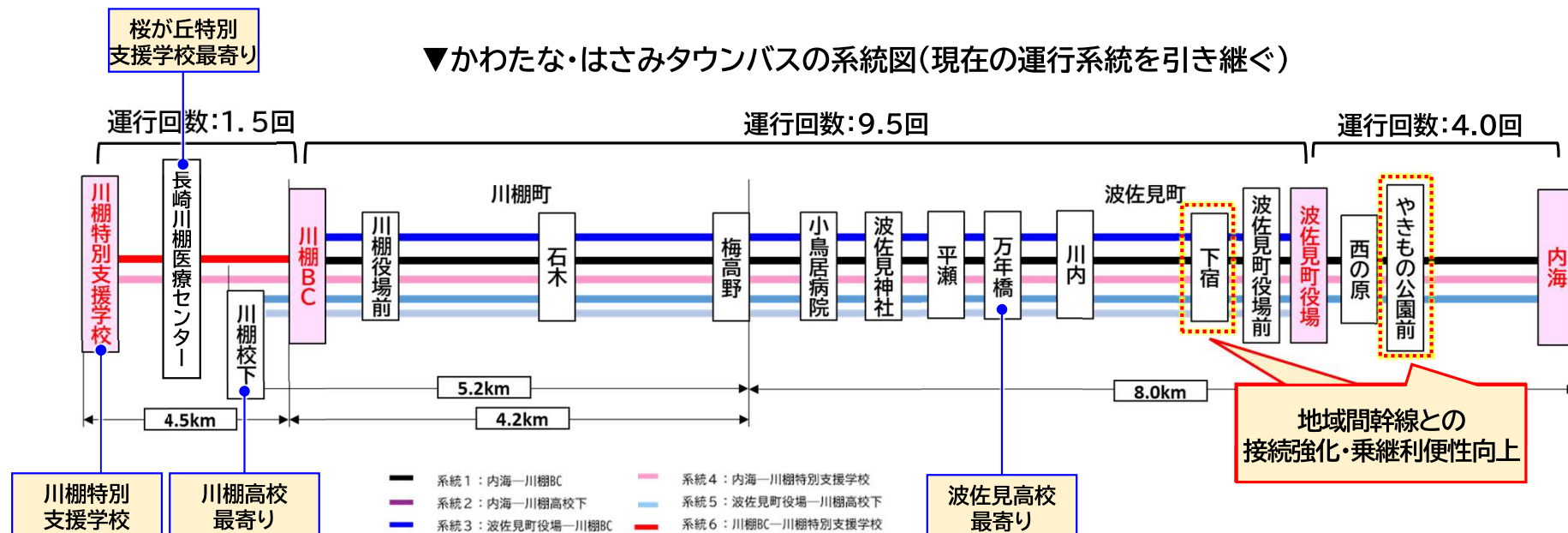
【再編内容】

- 運行ルートは、実証運行に引き続き、内海-川棚バスセンターを主な起終点としつつ、川棚バスセンターから先、川棚特別支援学校までを延伸したルートで本格運行を開始する
- 運行ダイヤは高等学校4校の通学・帰宅時間、JR大村線(川棚駅)及び佐世保-嬉野線との接続、買い物・通院のニーズに配慮した運行ダイヤとして実証運行のサービス水準を引き継いで本格運行を開始する

③再編による主な効果

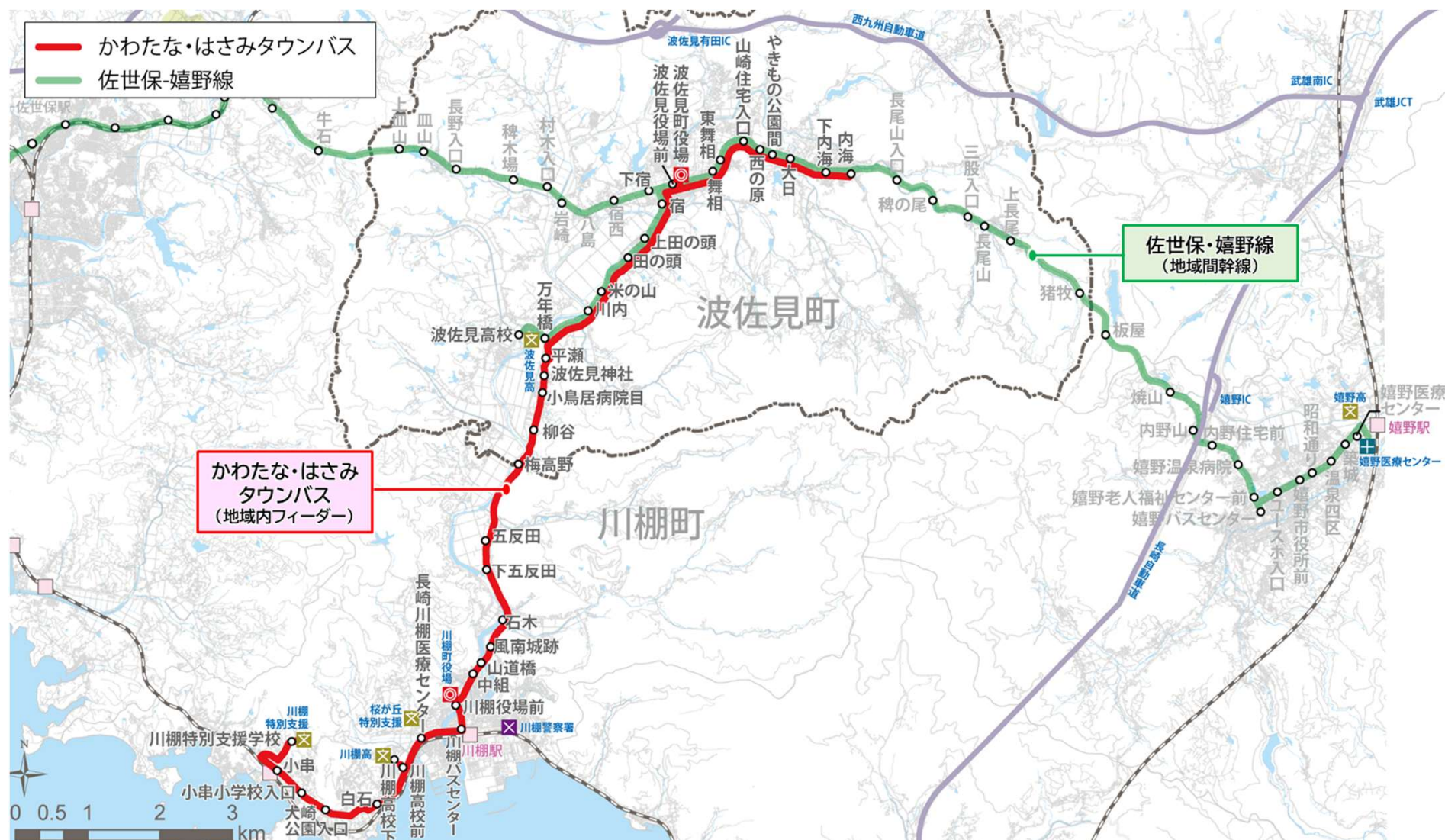
【再編の主な効果】

- 波佐見町・川棚町の高等学校の通学・帰宅時間に合った運行ダイヤ・運行ルートの継続による通学利便性の維持・確保、学校までのラストワンマイル輸送の確保
- 佐世保・嬉野線の再編に伴い主要目的施設が集積する「下宿」や新たな主要結節点となる「やきもの公園前」等での接続による地域間幹線(佐世保・嬉野線)と地域内フィーダー(タウンバス)相互の接続強化・乗継利便性向上



④かわたな・はさみタウンバスの路線図

▼かわたな・はさみタウンバスの路線図



⑤事業の目標

【再編方針2. に基づく利便増進事業の目標設定】

- 両町の地域公共交通計画を踏まえつつ、かわたな・はさみタウンバスの持続的な運行に向けて、旧川棚・内海線の令和5年度実績に基づく「年間輸送人員」、アンケート調査に基づく「高等学校・特別支援学校の公共交通利用割合」を数値指標として、下記の目標値以上の達成を目指す。

▼再編方針2. に基づく利便増進事業による数値目標

目標指標	現況		目標(R12)
年間輸送人員	23,368人(R5実績)※1		23,368人以上
高等学校・特別支援学校の公共交通利用割合	通学時:20.6%※2 帰宅時:24.3%※2		通学時・帰宅ともに20%以上

※1:令和7年度の実証運行実績に基づく「かわたな・はさみタウンバス」の年間輸送人員

※2:令和6年度実施の公共交通に関するアンケート調査に基づく町内在住の学生の公共交通利用割合

⑥事業の効果

【再編方針2. に基づく利便増進事業によって見込まれる効果】

- 両町の地域公共交通計画に位置付けられた施策を実現するための事業として、下記の事業効果を見込むものとする。

▼再編方針2. に基づく利便増進事業によって見込まれる主な効果

事業の効果	再編前	再編後
町内の波佐見高等学校、川棚町に立地する川棚高等学校・桜が丘特別支援学校・川棚特別支援学校への通学手段の確保(各高校へ通学・帰宅便の運行回数)	0回 ※廃止路線	1.0回以上
JR大村線川棚駅との接続調整による乗継利便性の向上(川棚バスセンターで川棚駅時刻と接続する便数)	0便 ※廃止路線	14便

⑦地方公共団体による支援の内容

【利便増進事業の実施における地方公共団体の支援内容】

- かわたな・はさみタウンバスの利便増進事業の実施にあたり、主に下記点について支援を行うとともに、両町の地域公共交通の持続的な運行に向けて交通事業者と連携して事業を進めていきます。

▼利便増進事業の実施における地方公共団体の支援内容

区分		支援内容
両町 共通	地域内フィーダー路線の接続調整等	➤ 佐世保・嬉野線の再編と合わせて、地域内フィーダー路線として本格運行を行う「かわたな・はさみタウンバス」との接続調整を行い、町内の高等学校や主要企業等へのラストワンマイル輸送の確保、幹線・フィーダー相互の利便性向上を図る。
	その他	➤ 高等学校・特別支援学校の高校生による音声案内合成 ➤ 地域企業・団体との共による地域公共交通の情報発信・利用案内支援 ➤ 通学・通勤定期補助の導入、町の観光施策との連携策、公共交通マップ作成・配布、キャッシュレス決済機能・バスロケーションシステムの導入等の利用促進策に関わる取組支援を行う。 ➤ 波佐見町役場を待合所として開放し、快適な待合環境の確保に向けた支援を行う。 ➤ 運転士確保に向けた各種支援制度(免許取得支援、家賃補助等)の支援・検討を行う。

①再編の方針・狙い

◆令和7年10月より、共創モデル実証運行事業を活用して実証運行を開始しているチョイソコ「のんなっせ号」について、本格運行への移行を行います。

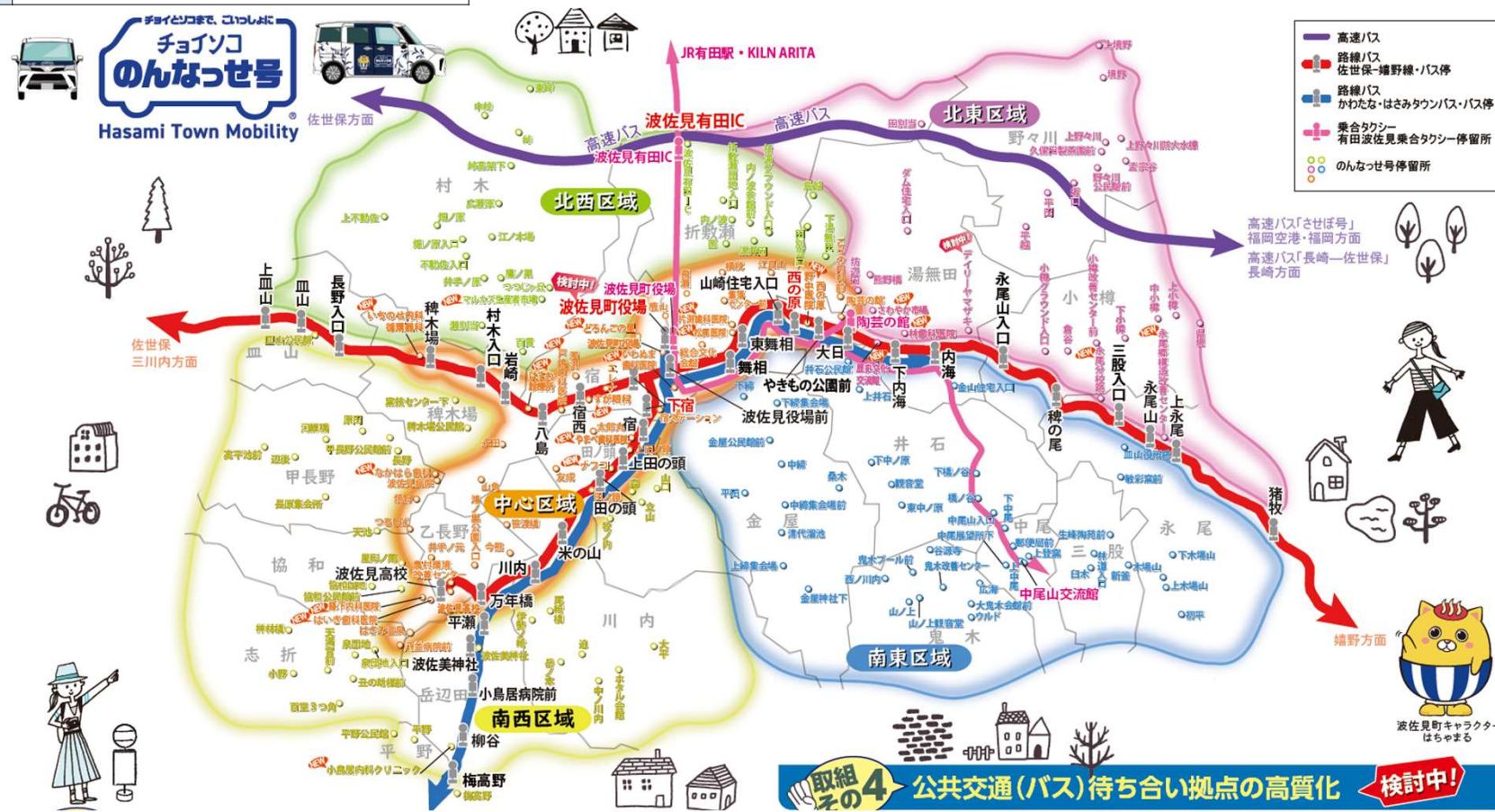
【再編の狙い】

- 実証運行中の現在の運行サービスを基本として本格運行へ移行
- ドア・ツー・ドアサービスなどを導入することで、利便性の向上及び利用促進(乗合率の向上)
- 予約制区域運行(町全域)の継続による交通空白・不便地域の解消



予定期間	令和8年10月～本格運行開始予定
事業形態	自家用有償旅客運送(予約制区域運行)

▼チョイソコ「のんなっせ号」の運行区域図



②再編内容

- ◆本格運行に移行にあたり、地域間幹線系統である「佐世保・嬉野線」と接続する**地域内フィーダー系統路線**として運行を行います。

【再編内容】

- 予約制区域運行及びドア・ツー・ドアサービスによる本格運行の開始
- 従来の曜日運行(週3日程度)から毎日運行へ運行頻度を高め、AIオンデマンドシステム(チョイソコ)の導入による効率的な配車
- 運行時間帯は、実証運行から引き続き町内を5つの区域に区分し、各時間帯を入れ替えて運行

③再編による主な効果

【再編の主な効果】

- 予約制区域運行及びドア・ツー・ドアサービスへの再編により、町内全域をカバーし、**交通空白・不便地域の解消、移動困難者を含めた町内の買い物・通院等の利便性向上**
- AIオンデマンドシステムの導入による**利用予約の利便性向上**、効率的な配車
- 利用予約受付を運行委託事業者だけでなく、社会福祉協議会及び観光協会を含めた共創体制を継続し、**予約段階での乗合の促進・地域コミュニティの形成・活性化**

▼チョイソコ「のんなっせ号」の運行区域・運行時間帯



※中心区域は全時間帯で運行

曜日 時刻	9	10	11	12	13	14	15	16
月・水・金	北東	北西	北東	北西	北東	北西	北東	北西
火・木	北西	北東	北西	北東	北西	北東	北西	北東
月・水・金	南東	南西	南東	南西	南東	南西	南東	南西
火・木	南西	南東	南西	南東	南西	南東	南西	南東

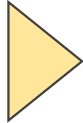
北東 北東区域と中心区域 南東 南東区域と中心区域 北西 北西区域と中心区域 南西 南西区域と中心区域

④事業の目標

【再編方針3. に基づく利便増進事業の目標設定】

- 公共交通計画で位置付けた「基本方針3. 支線(フィーダー)軸の再編」の実現に向けた数値指標を踏襲し、チョイソコのんなっせ号の「予約制乗合交通の乗合率」を数値指標として下記の目標以上を目指します。

▼再編方針2. に基づく利便増進事業による数値目標

目標指標	現況		目標(R12)
予約制乗合交通の乗合率	1.5人／台(R5年度実績)※		2.0人／台以上

※従来の運行形態による令和5年度実績

⑤事業の効果

【再編方針3. に基づく利便増進事業によって見込まれる効果】

- 公共交通計画で位置付けた「基本方針3. 支線(フィーダー)軸の再編」を実現するための事業として、主に下記の事業効果を見込みます。

▼再編方針3. に基づく利便増進事業によって見込まれる主な効果

公共交通計画との整合	事業の効果	再編前	再編後
基本方針3 施策3:地域の 需要に合った 運行サービス への見直し	予約制区域運行への再編及びドア・ツー・ドアサービスの導入による利便性向上	自宅送迎無し	自宅送迎可
	予約制区域運行への再編による町内の公共交通空白・不便地域の解消	一部エリアで空白地域有り※	町内全域をカバー

⑥地方公共団体による支援の内容

【利便増進事業の実施における地方公共団体の支援内容】

- チョイソコのんなっせ号の利便増進事業の実施にあたり、主に下記点について支援を行うとともに、町内の地域公共交通の持続的な運行に向けて交通事業者・関係自治体・団体と連携して事業を進めていきます。

▼利便増進事業の実施における地方公共団体(波佐見町)の支援内容

区分	支援内容
AIオンデマンドシステムの導入	➤ チョイソコシステムによる予約受付・配車システムの運用
かわたな・はさみタウンバスとの相互利用	➤ 佐世保・嬉野線及びかわたな・はさみタウンバスの路線バス停留所を乗車または降車停留所として共用し、接続強化を図る。
その他	➤ 企画乗車券(回数券、プリペイドカード)の導入、キャッシュレス決済機能・バスロケーションシステムの導入、町の観光施策との連携策、公共交通マップ作成・配布等の利用促進策に関わる取組支援を行う。 ➤ 波佐見町役場を待合所として開放し、快適な待合環境の確保に向けた支援 ➤ 予約受付における社会福祉協議会・観光協会との連携・調整